

報 告 書

2021年 3月 31日

活動実施団体名 葛西臨海水族園
責任者名 天野未知
報告書作成者名 田中隼人

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

高校生・大学生向け講座「海の学び舎」 Researchers of Aquarium－水族園の研究活動－
第1回「フィールド調査でわかったユウゼンの生態」
講師：松村 哲（葛西臨海水族園調査係）

2. 実施日

令和2年 10月 25日 10時 00分～12時 00分

3. 実施場所

ウェブ会議サービス「Zoom」を使ったオンライン講義形式

4. プログラム等

時間	内容	備考
0940	Zoom 受付開始	メール未着の方の対応
1000	講演	学芸員実習生見学
1100	質疑応答	
1150	アンケート・次回のお知らせ・質疑応答	
1200	終了	

5. 対象・参加人数

高校生・大学生（大学院生含む）
40名（参加申し込みは60名）
高校4名、大学31名、修士3名、専門1名、中学2名

6. 活動の内容・状況・感想

葛西臨海水族園で行われている研究活動のうち、日本固有のチョウチョウウオのなかまユウゼンの知られざる繁殖生態について小笠原父島でのフィールドワークを通して初めてわかったことを講演した。また、高校生・大学生の進路選択のヒントとなるように水族園で働くに至った履歴などを話した。

質問は全部で42件あり、専門的で高度なものばかりだった。今回の企画に強い興味を持った参加

者が多かったことがうかがえる。オンラインでの開催によるメリット、デメリットがあった。メリットとしては、①南は琉球大、北は北海道大と様々な地域から参加があり、遠方から参加できることが挙げられる。また、オンラインであることから気軽に応募できたとのコメントがアンケートにあった。②チャットでの質問が出しやすかったようで、1時間の質疑応答時間を使いきるほど質問がでた。一方でデメリットとして、インタラクティブにすることが難しいこと、接続環境の良し悪しがプログラムに影響する、応募者に対して実際の参加者が少ない（気軽にキャンセルできる？）などがあった。

参加者からの感想（一部抜粋）

- ・今まで考えたことのなかったチョウチョウウオ科の生態について知れたため、とても有意義な講座となりました。また、自分自身の就職について悩むところもあったので、このような仕事もあることを知れたため、自分の選択肢を広げられたと思います。普段このような講座は会場が遠いため参加できないのですが、zoomで参加することができて良かったです。
- ・チャットによる皆さんの質問と、その回答のやりとりで一段と理解が深まりました。
- ・水族園に飼育係だけでなく、調査係がいることに驚きました。また調査を行う際の個体の識別を体の模様をみて判別していることも印象に残りました。・実際の映像もたくさんあり、すごくわかりやすく、おもしろかったです。保全を行う大切さなども聞くことができ、勉強になりました。今度、ユウゼンを水槽で観察したいという気持ちになりました。ありがとうございました。

7. 写真



ユウゼンのペア



発表の様子



発表会場の様子



フィールド調査の様子